

**EGFR遺伝子変異陽性 非小細胞肺癌（扁平上皮癌を除く）
イレッサ+アリムタ併用療法 患者プロトコール**

催吐リスク
軽度
放射線併用なし

投与プロトコール 1コース 21日間 制限なし 《開始時基準 PS:0~2 年齢:20歳以上》		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートKeep	生食		day1	—	
プレメディ	5-HT3R拮抗剤+デキサメタゾン+生食100mL		day1	30分	
①	アリムタ 500mg/m² 生食 100mL	mg	day1	10分	
内服	イレッサ 250mg/day	mg	day1~21	分1 食後	

- ◆初回投与7日以上前から、パンプタン1g/回/日を連日経口投与。
なお、パンプタンの投与を中止又は終了する場合は、アリムタ最終投与日から22日目まで可能な限り投与を行う。
- ◆初回投与7日以上前に、フレスミンS(1mg/1A)筋肉内投与。(フレスミンSは、以後9週間毎投与)
- ◆アリムタの催吐リスクは軽度に分類されるが、嘔気嘔吐がみられるため前投薬の5-HT3受容体拮抗薬は必要。

佐賀大学医学部附属病院